

2025 年度事業報告

I. 研究発表会，講演会等の開催

1. 学術大会

(1) 日本心理学会第 89 回大会

期日 : 2025 年 9 月 5 日(金)―7 日(日)

会場 : 東北学院大学 五橋キャンパス (Web 併用)

主催 : 公益社団法人日本心理学会

大会長 : 理事長

参加者数 : 3,054 名

発表件数 : 一般研究発表 1,155 件，公募シンポジウム 85 件，小講演 22 件，TWS20 件

2. 教育研究委員会講演・出版等企画小委員会企画

(1) 公開シンポジウム

①こころの加齢と発達——実験研究から考えるウェルビーイング——(10 月 4 日 愛知淑徳大学)

(2) 高校生のための心理学講座(対面／共催行事)

全 12 件の講座に共催

(3) 高校生のための心理学講座 YouTube 版(オンライン配信)

1 件公開

3. 第 89 回大会内での企画シンポジウム等

<招待講演>

(1) Beyond genes and parents: The effects of cultural products on human psychology(Emanuele Castano)

<大会企画シンポジウム>

(1) 論文投稿への道 2025——初めての投稿・初めての査読——(機関誌等編集委員会)

(2) JPR 特集号「アジアから発信する心理学」への投稿の道——英語論文投稿への道・特別編——(機関誌等編集委員会・国際委員会)

(3) 臨床神経心理の世界 2——臨床現場で活かす神経心理学の知識——(教育研究委員会 講演・出版等企画小委員会)

(4) 高校心理学教育と心理学(者)との効果的なつながりを育むために——教室での心理学シリーズ 1——(教育研究委員会 高校心理学教育小委員会企画，日本学術会議心理学・教育学委員会心の科学のキャリアパス構築分科会主催)

(5) 心理統計教育の標準カリキュラム・シラバスはいかにあるべきか(4)——「ベシスタ」検証：到達度確認テストの評価と実践報告——(教育研究委員会 心理統計法標準カリキュラム作成小委員会)

(6) 震災を越えてつながる心——国際的視点から災害と心理学を考える——(国際委員会)

(7) 国際共同研究のすすめ——初めの一步を踏み出すために——(国際委員会)

(8) 令和を生きる心理学を学んだ人のキャリア探索(認定心理士の会運営委員会)

(9) マインドフルネスの基本を正しく理解しよう！(参加・体験型)——(認定心理士の会運営委員会)

(10) [新刊連動講座] 反応時間——理論、実践、応用(認定心理士の会運営委員会・株式会社

勁草書房)

- (11)「AI for 心理学」のすすめ——その研究、AI がちょっと手伝います——（若手の会）
- (12)「心理学 for AI」の可能性——AI×人間×社会の共創をめざして——（若手の会）
- (13)日本心理学会若手の会 心理学領域における進路の相談&ネットワークづくり——研究や進路などに関して、同世代や少し上の先輩と話し合える座談会——（若手の会）
- (14)学部生・高校生プレゼンバトル（若手の会）
- (15)ライフステージにともなう研究者アイデンティティの再構築——「回帰」から「再編」へ——（男女共同参画推進委員会）
- (16) 心理学コミュニティ・ネットワーキングイベント 2025——ワーク・ライフ・ケア・バランス——（男女共同参画推進委員会）
- (17) 公認心理師養成における実習・演習の工夫（公認心理師養成大学教員連絡協議会）

<大会企画シンポジウム（他学会連携企画）>

- (1) 人とロボットが共生する社会に向けて（人工知能学会・認知科学会）
- (2) Cultural Diversity in Psychology: A New Look at Japan (International Association of Cross-Cultural Psychology)
- (3) バーチャルリアリティ（VR）と心理学：基礎から臨床までの試み（日本バーチャルリアリティ学会・東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究）
- (4) 意思決定パートナーとしての人工知能——より良い生活のための人間と人工知能の協働の可能性を拓く——（台湾心理学会）
- (5) 東日本大震災における津波からの避難行動で得られた教訓（東北心理学会）
- (6) 学校におけるストレスマネジメント教育の推進と課題（日本ストレスマネジメント学会）
- (7) VUCA 時代の行動科学——不確実な社会に適応するために——（日本行動科学学会）
- (8) 臨床心理学と基礎心理学の連携（日本心理学諸学会連合）
- (9) 仮説をかたちにする：数理モデルという道具——心理学と数理社会学の交差点としてのベイズ統計モデリング——（数理社会学会）

4. 認定心理士の会企画シンポジウム・新刊連動講座等

シンポジウム

- (1) 関東支部 公開セミナー「私たちの判断は偏っている？ー認知バイアスの理解ー」（6月7日足立区生涯学習センター）
- (2) 公開シンポジウム「ワーク・ライフ・バランスを考える」（8月23日 オンライン）
- (3) 公開シンポジウム「障がいのある人のワークスタイル」（8月30日 オンライン）
- (4) 東北心理学会第78回大会・日本心理学会認定心理士の会共催特別講演会（8月30日・31日 医療創成大学）
- (5) 第72回大会北海道心理学会・日本心理学会認定心理士の会共催 シンポジウム「認知システムのダイナミクスと脳の可塑性：経験と学習による 心の精緻化」（10月26日 北翔大学）
- (6) 中国四国心理学会第81回大会公開シンポジウム日本心理学会認定心理士の会共催「エビデンスに基づいた学校教育 支援の在り方について考える」（11月8日 広島修道大学）
- (7) 近畿支部 公開講演会「ゆるしの心理学」（11月29日 TKP ガーデンシティ京都タワーホテル）
- (8) 九州・沖縄支部共催公開講座 九州心理学会 第86回大会公開講座（11月29日 西九州大学）

- (9) 北陸支部 公開講演会「心理学者としての歩み・ 中間まとめ」——臨床と研究の対話から—— (12月13日 富山大学)
- (10) 中国・四国支部公開セミナー「犯罪に向き合う心理学 —「未然防止」の環境づくりと「聴取」の科学—」(2026年2月22日 県立広島大学・オンライン)
- (11) 公開セミナー「触法少年・触法障害者に対する更生支援—ともに考える現状と課題」(2026年3月7日 オンライン)

新刊連動講座 (web 開催)

- (1) 『LGBTQ+の健康レポート —誰にとっても心地よい医療を実装するために』刊行記念イベント「『LGBTQ+の健康レポート』 から読み解く心理臨床現場での実装方法」(4月12日 医学書院)
- (2) 『感情心理学・入門 改訂版』刊行記念イベント (4月19日 有斐閣)
- (3) 『文化神経科学』刊行記念イベント 文化が形作る心, 脳, 遺伝子 (5月17日 勁草書房)
- (4) 新刊連動講座『ワードマップ 学習マッピング—動物の行動から人間の社会文化まで』刊行記念イベント (6月22日 新曜社)
- (5) 『メタフォリカル・マインドー比喩的思考の心理学』刊行記念イベント (6月29日 有斐閣)
- (6) 『ままならぬ顔・もどかしい身体——痛みと向き合う13話』刊行記念イベント 顔や身体は誰のもの? (8月6日 東京大学出版会)
- (7) 『認知行動理論で考える健康・医療心理学——治療から予防まで, 心理学を医療現場に応用する』刊行記念イベント 健康と医療に対する理解を深める (10月18日 ちとせプレス)
- (8) 『サイエンティスト・プラクティショナー入門—心理職をめざす人のために』刊行記念イベント 心理職のための「科学者—実践家モデル」を学ぼう (11月29日 有斐閣)
- (9) 『オンライン心理学実験・調査入門』刊行記念イベント「誰でも簡単、Google フォームと lab.js で作れる!」(12月13日 ナカニシヤ出版)
- (10) 『カップルセラピーの教科書』(上・下) 刊行記念イベント「こころの科学は夫婦／カップルを救えるか?」(2026年1月17日 日本評論社)
- (11) 『エピソードでわかる子ども・子育て支援—子どもの育ちを支える』刊行記念トークイベント「子ども・子育て支援を身近な話題として考えてみよう」(2026年2月28日 北樹出版)
- (12) 『ワードマップ宗教認知科学 (CSR)』刊行記念トークイベント「Cognitive Science of Religion」宗教認知科学の世界を聴く (2026年3月28日 新曜社)

5. 研修会

- (1) アピアランス<問題>への心理社会的支援のための研修会 (2025年度) (研修委員会 12月7日 オンライン)
- (2) がん患者の抱えるアピアランス問題への心理社会的支援のための研修会 (2025年度) (研修委員会 2026年2月15日 国立がん研究センター中央病院)
- (3) 心理統計のための基礎数学講座(2026/3/9, 11, 13) (教育研究委員会 心理統計法標準カリキュラム作成小委員会 2026年3月9, 11, 13日 オンライン)

II. 学会誌, 研究報告書及びその他の資料の刊行

- 1. 「心理学研究」第96巻第1号—第6号の刊行
- 2. “Japanese Psychological Research” Vol.67, No.2-No.4 & Vol.68, No.1の刊行

3. 電子投稿システム改定

Editorial Manager 導入

4. 「心理学ワールド」第109号—第112号の刊行

5. 「心理学叢書」の刊行

(1) 地球社会で生きるための心理学——持続可能性への挑戦——

(2) 自閉スペクトラムの科学的支援に向けて——基礎研究と臨床応用の往還をめざして——

(3) 公認心理師になる——学びのプロセスと仕事の実際がよくわかる本——

Ⅲ. 研究及び調査の実施

1. 心理学統計カリキュラムの検討

大会時に企画シンポジウム開催→Ⅰ-3

研修会開催→Ⅰ-5

Ⅳ. 国内の学術団体との学術研究協力

1. 日本学術会議

連絡協力

「日本学術会議法案に関する声明」発出(2025年5月7日)

大会時に心理学・教育学委員会心の科学のキャリアパス構築分科会主催シンポジウム開催→Ⅰ-3

2. 日本心理学諸学会連合(日心連)

理事会・総会出席

会費および認定心理士承認料支払

大会時に連携企画シンポジウム開催→Ⅰ-3

3. 日本脳科学関連学会連合(脳科連)

理事会出席

運営費支払

4. 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会(GEAHSS:ギース)

運営委員会出席

分担金支払

5. 公認心理師養成大学教員連絡協議会(公大協)

大会時に企画シンポジウム開催→Ⅰ-3

心理学叢書(公認心理師になる)刊行→Ⅱ-5

2025年度年報刊行

6. その他団体等との研究協力

公認心理師の会(心師会)

事務局運営補助

医療保健福祉領域公認心理師推進協議会(推進協)

総会出席

人文社会系学協会メーリングリスト

連絡協力

7. 関連諸団体の運営支援

JPASS(会員管理システム)を利用した心理学関連諸団体の運営補助

日本パーソナリティ心理学会, 日本生理心理学会, 東北心理学会, 公認心理師の会, 日本質的心理学会, 産業・組織心理学会, 日本感情心理学会, 日本青年心理学会, 日本動物心理学会

2026 年度新規 2 学会の導入準備 (日本基礎心理学会・中国四国心理学会)

V. 国際的な学術研究協力

1. 国際心理科学連合(IUPsyS)

会費支払

2. 国際応用心理学会(IAAP)

連絡協力

3. 国外心理学会との研究協力

MOU 締結団体(締結順)

Chinese Psychological Society (CHN)

Korean Psychological Association (KOR)

Australian Psychological Society (AUS)

Psychological Society of South Africa (ZAF)

Taiwanese Psychological Association (TWN)

American Psychological Association (USA)

Malaysian Psychological Association (MYS)

Swedish Psychological Association (SWE)

British Psychological Society (GBR)

Psychological Association of the Philippines (PHL)

Indonesian Psychology Association (IDN)

Russian Psychological Society (RUS)

National Academy of Psychology, India (IND)

Singapore Psychological Society (SGP)

New Zealand Psychological Society (NZPsS/2024 年度締結)

4. 日中韓三カ国シンポジウム

11 月 1 日開催, 主催 中国

2026 年度 (主催 韓国)・2027 年度 (主催 日本) に向けた研究計画募集

5. Asia Pacific Psychology Alliance

総会出席

6. Global Psychology Alliance

連絡協力

VI. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1. 公益社団法人日本心理学会優秀論文賞の選考・授与

優秀論文賞選考委員会にて, 優秀論文賞受賞論文を選考した。

選考対象: 2024 年度に完結した「心理学研究」第 95 巻第 1—6 号の原著論文, 研究資料と,

2024 年に完結した “Japanese Psychological Research” Vol. 66, No. 1—4 の
Original Article

表彰：第 89 回大会時に授賞式を実施した。

Nittono, H., & Ohashi, A. (2024). Considering Cuteness Enhances Smiling Responses to Infant Faces. *Japanese Psychological Research*, 66(4), 462-472.

<https://doi.org/10.1111/jpr.12514>

Chuang, Y. C., & Fujiwara, K. (2024). Facial Mimicry in Unstructured Dyadic Interactions: A Cross-Cultural Study. *Japanese Psychological Research*, 66(4), 493-509. <https://doi.org/10.1111/jpr.12528>

2. 公益社団法人日本心理学会国際賞の選考・授与

国際賞選考委員会にて、国際賞授賞者を選考した。

選考対象：会員推薦と自薦による応募（奨励賞のみ）

表彰：第 89 回大会時に授賞式を実施した。

<奨励賞> 溝川 藍（名古屋大学）
森 数馬（（国研）量子科学技術研究開発機構）
野崎 優樹（甲南大学）
魚野 翔太（筑波大学）
柳岡 開地（大阪教育大学）

3. 公益社団法人日本心理学会学術大会優秀発表賞の選考・授与

（1）学術大会優秀発表賞

審査対象：第 89 回大会一般研究発表のうち、審査対象となることを希望した発表 838 件

審査者：役員・代議員

表彰：特別優秀発表賞 11 件，優秀発表賞 56 件

（2）学術大会優秀発表賞＜英語部門＞

審査対象：第 89 回大会で英語で行われた一般研究発表のうち、審査対象となることを希望した発表 68 件

審査者：役員・代議員・国際委員会委員

表彰：特別優秀発表賞 1 件，優秀発表賞 5 件

4. シチズン・サイコロジスト奨励賞の選考・授与（認定心理士の会企画）

認定心理士の会運営委員会にて、シチズン・サイコロジスト奨励賞を選考した。

選考対象：会員推薦と自薦による応募

表彰：第 89 回大会時に授賞式を実施した。

<シチズン・サイコロジスト奨励賞>

（1）一般社団法人災害伝承普及協会（共同代表 齋藤 良子・竹中 あかり）

5. 研究集会等への支援

助成金の支給を行わない形で公募し、25 件の研究会を採択した。

6. 若手の会

大会時企画シンポジウム開催→ I-3

若手マッチングイベント 2026 開催 2026 年 3 月 29 日 東京 812_MillionLOUNGE 浜松町・大門

VII. 資格認定及び研修

1. 公益社団法人日本心理学会認定心理士資格の審査と授与

総審査数：3,382 件

合格：3,057 名

資格取得者：2,988 名

2. 公益社団法人日本心理学会認定心理士（心理調査）資格の審査と授与

総審査数：180 件

合格：86 名

資格取得者：82 名

3. 新電子申請システムの検討

システム開発業者選定

4. 認定心理士資格と公認心理師資格の調整

5. 認定心理士の会

会員数：6,045 名

大会時シンポジウム開催→Ⅰ-3

企画セミナー・シンポジウム開催→Ⅰ-4

シチズン・サイコロジスト奨励賞選考→Ⅵ-4

Ⅷ. その他目的を達成するために必要な事業

1. 心理学の普及・啓発のための広報活動

(1) 日本心理学会ホームページ、会員宛メール配信、X, Facebook による広報活動、
Web「心理学ミュージアム」、日本心理学会 YouTube チャンネル

(2) つるの剛士氏特別対談

2. 倫理規程の継続的な検討・倫理問題の解決

倫理委員会にて検討

3. ハラスメント対策検討 WG

(1) ハラスメント対策規程等の検討

4. 動物実験 WG

(1)「動物研究実施に関する実態調査」実施

5. 選挙の実施

(1) 理事長選挙，常務理事選挙の実施

6. 男女共同参画推進

(1) 女性研究者ネットワーキングイベント

大会時企画シンポジウム開催→Ⅰ-3

(2) 研究者のためのトークサロン

2026 年 3 月 27 日開催 オンライン

(3) ジェンダーTips ML

7. 高校心理学教育の検討

(1) 高校心理学教育に関わるホームページ運営

(2) 高校心理学教育連絡協議会

第 2 回オンラインミーティング「高校倫理の授業で心理学をどのように扱っているか」

2026 年 3 月 12 日 オンライン

8. グローバルネットワーク拡充(国際委員会企画)

9. 公益法人制度改革に伴う対応

- (1) 外部理事・外部監事の設置
- (2) 公益法人会計基準改正対応

10. その他

- (1) 100 周年(2027 年度)記念事業
- (2) 学会賞の検討
- (3) ICP2016 記念事業(国際委員会企画)
- (4) 部門・部会制の検討
- (5) 会員管理・資格申請システム更新
(JPA Secretariat System; JPASS)

以上

会員の異動状況報告書

会員の種別	会 員 数		増減数	備 考
	2024年度末	2025年度末		
正会員	7,661 名	7,748 名	87 増	
賛助会員	15 名	16 名	1	
名誉会員	26 名	30 名	4 増	
特別会員	0 名	0 名	0	
終身会員	263 名	274 名	11 増	
計	7,965 名	8,068 名	103 増	

社員の異動状況報告書

	社 員 数		増減数	備 考
	2024年度末	2025年度末		
社員	295 名	290 名	5 減	